

昭和二十一年(八)

人閣議第一一一号  
起案  
平成四年五月二五日  
閣決定  
平成四年五月二六日  
施行  
平成四年五月二七日  
裁可  
平成四年五月二七日  
平成年月日

内閣総理大臣

内閣官房長官

内閣官房副長官



内閣参事官



渡辺参國務大臣

田名部國務大臣

山崎國務大臣

谷川國務大臣

田原國務大臣

渡部國務大臣

塩川國務大臣

東家國務大臣

羽田國務大臣

奥田國務大臣

伊江國務大臣

中村國務大臣

鳩山國務大臣

渡辺参國務大臣

岩崎國務大臣

野田國務大臣

山下國務大臣

近藤國務大臣

加藤國務大臣

宮下國務大臣

検事総長 岡村 泰孝

検事総長に任命する

一級に叙する

内閣

次長検事 藤永 幸治

検事長に任命する

一級に叙する

検事 土肥 孝治

次長検事に任命する

一級に叙する

外務事務官 堤 功一

外務事務官 数原 孝憲

外務事務官 大和田 惠朗

外務事務官 國安 正昭

外務事務官 荒船 清彦



特命全權大使に任命する

内

閣

大阪地方検察庁検事正 検事 土肥 孝治  
次長検事に任命する  
一級に叙する

(平成4年5月27日付け)

法務省人任第1408号  
平成4年5月19日

内閣総理大臣 殿

法 務 大 臣



下記のとおり人事異動を実施したい内議がありますので、  
閣議の上、発令願います。

なお、本件は、平成4年5月26日限り定年退官予定の検事  
総長寛榮一の後任に東京高等検察庁検事長岡村泰孝を、その  
後任に次長検事藤永幸治を、その後任に大阪地方検察庁検事正  
土肥孝治をそれぞれあてようとするものです。

記

東京高等検察庁検事長 検事長 岡 村 泰 孝  
検事総長に任命する  
一級に叙する

次 長 検 事 藤 永 幸 治  
検事長に任命する  
一級に叙する

法  
務  
省

本籍				氏名	おかむら やすたか
現住所				出生年月日	昭和四年六月一三日生
出生地				旧氏名	

  

年	月	日	事	項	庁名
二七	一一	一七	司法試験第二次試験合格		司法試験 管理委員会
二八	三		京都大学法学部卒業		
〃	四	一	司法修習生を命ずる		最高裁判所
三〇	四	七	司法修習生の修習終了		〃
〃	〃	九	検事二級（大阪地方検察庁検事）に採用する		法務省
〃	一二	二六	高知地方検察庁検事に配置換する		〃
三二	四	一	徳島地方検察庁検事に配置換する		〃
三三	三	二八	静岡地方検察庁検事に配置換する		〃
昭和三三	三	二八	静岡地方検察庁浜松支部勤務を命ずる		法務省
三四	三	一六	名古屋地方検察庁岡崎支部検察官事務取扱を命ずる 但し期日は三月一八日一日限りとする		最高検察庁
三六	三	二五	水戸地方検察庁検事に配置換する		法務省
三八	八	一五	東京地方検察庁検事に配置換する		〃
四〇	三	二五	函館地方検察庁検事に配置換する		〃
四二	一二	二八	東京地方検察庁検事に配置換する		〃
四三	九	一〇	司法研修所教官に充てる		最高裁判所
四四	一	二九	昭和四四年度司法修習生考試につき司法修習生考試 委員会臨時委員を委嘱する		〃
〃	一二	二四	昭和四五年度司法修習生考試につき司法修習生考試 委員会臨時委員を委嘱する		〃

## 履歴書用紙

## 法務省

四六	一	二七	司法修習生考試委員会委員を委嘱する	最高裁判所
四七	四	一一	司法研修所教官に充ててることを解く	"
"	一二	六	司法修習生考試委員会委員の委嘱を解く	"
四九	二	六	昭和四九年度司法修習生考試につき司法修習生考試委員会考查委員を委嘱する	"
"	三	六	司法修習生考試委員会考查委員の委嘱を解く	"
"	六	一七	東京高等檢察庁檢察官事務取扱を命ずる	東京高等檢察庁
五〇	一	二九	昭和五〇年度司法修習生考試につき司法修習生考試委員会考查委員を委嘱する	最高裁判所
"	八	一五	東京高等檢察庁檢察事に配置換する	法務省
"	"	"	東京高等檢察庁檢察官事務取扱を免ずる	東京高等檢察庁
五一	一	二八	昭和五一年度司法修習生考試につき司法修習生考試委員会考查委員を委嘱する	最高裁判所
五二	一	一九	昭和五二年度司法修習生考試につき司法修習生考試委員会考查委員を委嘱する	最高裁判所
履歴書用紙 法務省				
昭和五三	一	二五	委員会考查委員を委嘱する	最高裁判所
"	"	"	昭和五三年度司法修習生考試につき司法修習生考試委員会考查委員を委嘱する	"
五四	四	九	東京地方檢察庁檢察事に配置換する	法務省
"	"	"	東京地方檢察庁刑事部長を命ずる	"
"	"	二七	法制審議会少年法部会委員に併任する	"
五五	三	五	オランダ、西ドイツ、フランス、イタリア、スイス、連合王国及びアメリカ合衆国の各国へ出張を命ずる	"
"	"	"	出張期間は昭和五年三月三一日から同年四月二九日までとする	"
"	六	二	東京地方檢察庁特別捜査部長を命ずる	"
"	"	"	東京地方檢察庁刑事部長を免ずる	"
"	七	一五	法制審議会少年法部会委員の併任を解除する	"

岡村 泰孝

五六	一二	一	那覇地方検察庁検事正に配置換する	
〃	〃	〃	福岡高等検察庁検事に併任する	〃
〃	〃	〃	福岡高等検察庁那覇支部勤務を命ずる	〃
〃	〃	〃	福岡高等検察庁那覇支部長を命ずる	〃

五八	三	二	最高検察庁検事に配置換する	〃
〃	〃	〃	福岡高等検察庁検事の併任を解除する	〃
〃	〃	〃	福岡高等検察庁那覇支部勤務を免ずる	〃
〃	〃	〃	福岡高等検察庁那覇支部長を免ずる	〃
〃	八	一五	公安調査庁次長に充てる	公安調査庁
〃	〃	〃	公安調査官を命ずる	〃
〃	九	八	第百回国会政府委員を命ずる	内閣
五九	二	六	第百一回国会政府委員を命ずる	〃
〃	一一	二〇	法務大臣官房長に充てる	法務省

履 歴 書 用 紙 法 務 省

年	月	日	事 項	庁 名
昭和五九	一一	二〇	公安調査庁次長に充てることを解く	公安調査庁
〃	〃	〃	公安調査官を免ずる	〃
〃	一二	一	第百二回国会政府委員を命ずる	内閣
〃	〃	一〇	法制審議会幹事に併任する	法務省
〃	〃	一九	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員に任命する	最高裁判所
六〇	一	一八	日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二十五条による合同委員会日本政府代表代理を命ずる	内閣
〃	〃	〃	日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定第二十条による合同委員会日本政府代表代理を命ずる	〃
〃	〃	〃	第百三回国会政府委員を命ずる	〃

岡村泰孝

年	月	日	事項	庁名
昭和六	一	二七	亮春対策審議会幹事に任命する	内閣
"	二	一八	日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第二十五条による合同委員会日本政府代表代理を免ずる	"
"	"	"	日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定第二十条による合同会議日本政府代表代理を免ずる	"
"	三	一	法制審議会司法制度部会委員に併任する	法務省
"	九	一一	第百七回国会政府委員を命ずる	内閣
"	"	"	動物保護審議会幹事に任命する	"
"	"	"	自然環境保全審議会幹事に任命する	"
"	一〇	二〇	法制審議会幹事に併任する	法務省
"	一二	一〇	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員に任命する	最高裁判所
"	"	一九	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員に任命する	最高裁判所
"	"	"	事務代理の期間は昭和六〇年一〇月二二日までとする	法務省
"	"	"	法務省刑事局長に充てる	"
"	"	"	検察官特別考試審査会委員に併任する	"
"	"	"	副検事選考審査会委員に併任する	"
"	"	"	第百三回国会政府委員を命ずる	内閣
"	"	"	法制審議会刑事司法部会委員に併任する	法務省
"	"	"	法制審議会少年法部会委員に併任する	"
"	"	"	第百四回国会政府委員を命ずる	内閣
"	"	"	検察官適格審査会予備委員に任命する	"
"	"	"	青少年問題審議会幹事に任命する	"
"	"	"	司法修習生考試委員会委員を委嘱する	最高裁判所

岡村 泰孝

〃	六二	〃	二九	第百八回国会政府委員を命ずる	内閣
〃	一一	二七	〃	第百九回国会政府委員を命ずる	〃
〃	一一	一九	〃	第百十一回国会政府委員を命ずる	〃
〃	一二	二八	〃	法制審議会刑事法部会委員に併任する	法務省
〃	〃	〃	〃	法制審議会少年法部会委員に併任する	〃
六三	六	一七	〃	第百十二回国会政府委員を命ずる	内閣
〃	〃	〃	〃	法務事務次官に任命する	法務省
〃	〃	〃	〃	法制審議会委員に併任する	〃
〃	〃	〃	〃	法制審議会刑事法部会委員の併任を解除する	〃
〃	〃	〃	〃	法制審議会少年法部会委員の併任を解除する	〃
〃	〃	〃	〃	法制審議会幹事の併任を解除する	〃
〃	〃	〃	〃	司法試験管理委員会委員長に併任する	〃
〃	七	五	〃	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員を免ずる	最高裁判所
〃	〃	〃	〃	司法修習生考試委員会委員の委嘱を解く	〃
昭和六三	七	二六	〃	中央交通安全対策会議幹事に任命する	内閣
〃	〃	二九	〃	国有財産中央審議会委員に併任する	大蔵省
〃	八	一	〃	地域改善対策協議会委員に任命する	内閣
〃	〃	四	〃	公害対策会議幹事に任命する	〃
〃	〃	五	〃	消費者保護会議幹事に任命する	〃
〃	〃	九	〃	海外移住審議会幹事に任命する	〃
成元	八	一	〃	最高裁判所一般規則制定諮問委員会委員に任命する	最高裁判所
二	三	三一	〃	平成三年三月三十一日まで勤務延長する	法務省
〃	六	一三	〃	次長検事に任命する	内閣
〃	〃	〃	〃	一級に叙する	〃
〃	〃	〃	〃	国有財産中央審議会委員の併任を解除する	大蔵省
〃	〃	〃	〃	簡易裁判所判事選考委員会委員を委嘱する	最高裁判所
〃	〃	二〇	〃	法制審議会委員に併任する	法務省

履歴書用紙 法務省

岡村泰孝

[illegible]

本籍		氏名		ふじなが ゆきはる	
現住所		出生年月日		昭和五年七月一日生	
出生地		旧氏名			
年	月	日	事	項	庁名
二七	一一	一七	司法試験第二次試験合格	司法試験 管理委員会	
二九	三		同大学大学院一学年修了	最高裁判所	
〃	四	一	司法修習生を命ずる	〃	
三一	四	五	司法修習生の修習終了	〃	
〃	〃	七	検事二級（東京地方検察庁検事）に採用する	法務省	
三二	四	一	宇都宮地方検察庁検事に配置換する	〃	
履歴書用紙 法務省					
昭和三三	八	一〇	横浜地方検察庁検事に配置換する	法務省	
三五	三	二五	東京地方検察庁検事に配置換する	〃	
三七	六	二七	アメリカ合衆国へ出張を命ずる		
			出張期間は昭和三七年七月九日から同三八年九月三〇日までとする		
			〇日までとする		
三八	一二	二八	法務事務官（法務省刑事局付）に併任する	〃	
四〇	七	六	かねて法務事務官（法務省入国管理局付）に併任する	〃	
〃	一一	一五	法務事務官（法務省入国管理局付）の併任を解除する	〃	
四一	一	一三	法制審議会幹事に併任する	〃	
四二	八	一五	法務省刑事局付に充てる	〃	
〃	〃	〃	法務事務官（法務省刑事局付）の併任を解除する	〃	

藤 永 幸 治

〃	〃	九	八	法制審議会幹事の併任を解除する	〃
〃	一一	一	八	外務事務官（大臣官房）に併任する	外務省
四三	三	二五		外務事務官（大臣官房）の併任を解除する	〃
〃	四	一二		外務事務官（欧亜局西欧課）に併任する	〃
〃	六	七		外務事務官（欧亜局西欧課）の併任を解除する	〃
〃	〃	八		外務省に出向させる	法務省
〃	〃	〃		外務事務官 （在オーストリア日本国大使館）に転任させる	外務省
〃	〃	〃		一等書記官を命ずる	〃

履 歴 書 用 紙

法 務 省

年	月	日	事 項	庁 名
昭和四七	七	三	帰朝を命ずる	外務省
〃	〃	一七	法務省に出向させる	〃
〃	〃	〃	検事一級（東京地方検察庁検事）に転任させる	法務省
〃	〃	〃	法務省刑事局参事官に充てる	〃
〃	一〇	五	法制審議会幹事に併任する	〃
四八	三	二三	法務省刑事局参事官に充てることを解く	〃
〃	四	一七	法制審議会幹事の併任を解除する	〃
四九	八	二〇	法務省刑事局参事官に充てる	〃
〃	九	七	法制審議会幹事に併任する	〃
五〇	一	二五	司法試験（第二次試験）審査委員に併任する	〃
〃	〃	〃	併任の期間は昭和五〇年一月三十一日までとする	〃
〃	四	一九	副検事選考審査会予備委員に併任する	〃
五一	一	二四	司法試験（第二次試験）審査委員に併任する	〃

藤 永 幸 治

履 歴 書 用 紙	法 務 省	年 月 日	事 項	併任の期間は昭和五一年一月三十一日までとする	〃
				法務大臣官房参事官に充てる	〃
				検察官特別考試審査会臨時委員に併任する	〃
				併任の期間は昭和五一年一月三十一日までとする	〃
				法制審議会幹事に併任する	〃
				司法試験（第二次試験）考查委員に併任する	〃
				併任の期間は昭和五二年一月三十一日までとする	〃
				東京高等検察庁検事に配置換する	〃
				法務大臣官房参事官に充てる	〃
				検察官特別考試審査会臨時委員に併任する	〃
昭 和 五 三 五 四	法 務 省	年 月 日	事 項	併任の期間は昭和五三年一月三十一日までとする	〃
				法制審議会幹事に併任する	〃
				司法試験（第二次試験）考查委員に併任する	〃
				併任の期間は昭和五四年一月三十一日までとする	〃
				昭和五四年度司法書士試験委員（筆記試験担当）に併任する	〃
				検察官特別考試審査会臨時委員に併任する	〃
				併任の期間は昭和五四年一月三十一日までとする	〃
				アメリカ合衆国へ出張を命ずる	〃
				出張期間は昭和五四年七月八日から同月一七日までとする	〃
				外務事務官（国際連合局）に併任する（期間は昭和五四年七月一七日までとする）	外務省

五五	二	一五	昭和五五年度司法書士試験委員（筆記試験担当）に併任する	法務省
〃	六	二	検察官特別考試審査会臨時委員に併任する	
〃	八	一一	併任の期間は昭和五五年一月三十一日までとする ヴェネズエラ及びメキシコの兩國へ出張を命ずる 出張期間は昭和五五年八月二三日から同年九月一〇日までとする	〃
〃	〃	一九	ヴェネズエラ国カラカスにおいて開催の第六回国際連合犯罪防止会議日本政府代表代理を命ずる	内閣
〃	九	一六	東京地方検察庁検事に配置換する	法務省
〃	〃	〃	東京地方検察庁公安部長を命ずる	〃
〃	〃	一八	検察官特別考試審査会臨時委員の併任を解除する	〃
〃	〃	〃	副検事選考審査会予備委員の併任を解除する	〃
〃	〃	二六	ヴェネズエラ国カラカスにおいて開催の第六回国際連合犯罪防止会議日本政府代表代理を免ずる	内閣
昭和五六	一二	一	東京地方検察庁特別捜査部長を命ずる	法務省
〃	〃	〃	東京地方検察庁公安部長を免ずる	〃
五八	一	一二	最高検察庁検事に配置換する	〃
〃	〃	〃	法制審議会少年法部会委員に併任する	〃
〃	〃	三〇	甲府地方検察庁検事正に配置換する	〃
〃	一〇	二〇	法制審議会少年法部会委員の併任を解除する	〃
六〇	七	二五	最高検察庁検事に配置換する	〃
〃	九	一〇	法制審議会刑事法部会委員に併任する	〃
六一	四	七	東京高等検察庁検事に配置換する	〃
〃	〃	〃	東京高等検察庁次席検事を命ずる	〃
〃	〃	〃	かねて東京高等検察庁総務部長を命ずる	〃

履歴書 用紙 法務省

年 月 日 事 項 庁 名

履歷書用紙

法務省

年	月	日	事	項	省
平成	元	九	四	一級に叙する	内閣
"	"	"	"	高松高等検察庁検事長に補する	法務省
"	"	"	"	検察官特別考試審査会臨時委員の併任を解除する	"
"	"	"	"	次長検事に任命する	内閣
"	"	"	"	一級に叙する	"
"	"	"	"	検察官特別考試審査会委員に併任する	法務省
"	"	"	"	副検事選考審査会委員に併任する	"
"	"	"	"	簡易裁判所判事選考委員会委員を委嘱する	最高裁判所
"	"	"	"	法制審議会委員に併任する	法務省
"	"	"	"	司法修習生考試委員会委員を委嘱する	最高裁判所
平成	元	五	一五	併任の期間は昭和六四年一〇月一九日までとする	法務省
"	"	"	"	併任の期間は昭和六三年一二月三十一日までとする	"
"	"	"	"	矯正保護審議会委員に併任する	最高裁判所
"	"	"	"	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員を免ずる	"
"	"	"	"	併任の期間は昭和六三年一二月三十一日までとする	"
"	"	"	"	検察官特別考試審査会臨時委員に併任する	"
"	"	"	"	最高検察庁検事に配置換する	"
"	"	"	"	最高検察庁刑事部長を命ずる	"
"	"	"	"	法制審議会刑事法部会委員に併任する	"
"	"	"	"	東京高等検察庁総務部長を免ずる	法務省
"	"	"	"	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員に任命する	最高裁判所
平成	元	五	一五	併任の期間は平成元年一二月三十一日までとする	"
"	"	"	"	併任の期間は昭和六四年一〇月一九日までとする	"
"	"	"	"	矯正保護審議会委員に併任する	最高裁判所
"	"	"	"	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会委員を免ずる	"
"	"	"	"	併任の期間は昭和六三年一二月三十一日までとする	"
"	"	"	"	検察官特別考試審査会臨時委員に併任する	法務省
"	"	"	"	併任の期間は平成元年一二月三十一日までとする	"
"	"	"	"	選挙制度審議会幹事に任命する	内閣
"	"	"	"	検事長に任命する	"

本籍			現住所		出生地	氏名		昭和八年七月一二日生	
どひ			たかはる		土肥 孝治				
年	月	日	事	項	庁名	年	月	日	事
三〇	一〇	二一	司法試験第二次試験合格	司法試験 管理委員会	最高裁判所	四九	八	八	アメリカ合衆国、連合王国、デンマーク、スウェーデン、オランダ、西ドイツ、オーストリア、スイス、イタリア及びフランスの各国へ出張を命ずる
三一	三		京都大学法学部卒業						出張期間は昭和四九年九月一〇日から同年一〇月二
三三	四	三	司法修習生を命ずる						
三三	四	一	司法修習生の修習終了						
三五	一〇	一	検事二級（札幌地方検察庁検事）に採用する	法務省					
三五	三	二五	札幌地方検察庁室蘭支部勤務を命ずる						
三五	三	二五	神戸地方検察庁検事に配置換する						
三五	三	二五	神戸地方検察庁姫路支部勤務を命ずる						
昭和三六	六	二二	松江地方検察庁検察官事務取扱を命ずる	最高検察庁					
			ただし期日は七月一五日一日限りとする						
			岡山地方検察庁検察官事務取扱を命ずる						
			ただし期日は一月二八日二日限りとする						
			神戸地方検察庁姫路支部勤務を免ずる	法務省					
			大阪地方検察庁検事に配置換する						
			東京地方検察庁検察官事務取扱を命ずる	最高検察庁					
			東京地方検察庁検察官事務取扱を免ずる						

昭和五二	八	一五	法務省人権擁護局付に充ててことを解く	法務省
〃	〃	〃	法務総合研究所教官に充ててことを解く	〃
〃	〃	一九	法制審議会幹事に併任する	〃
〃	〃	二四	法務大臣官房司法法制調査部長賀集唱外国出張につき同部長事務代理を命ずる	〃
〃	〃	〃	事務代理の期間は昭和五二年九月二二日までとする	〃
〃	一〇	一九	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会幹事に任命する	最高裁判所
五三	七	一	東京高等検察庁検事に配置換する	法務省
〃	〃	〃	法務大臣官房司法法制調査部司法法制課長に充てて	〃
〃	八	二五	大阪地方検察庁検事に配置換する	〃
〃	九	五	法制審議会幹事の併任を解除する	〃
〃	〃	二〇	最高裁判所刑事規則制定諮問委員会幹事を免ずる	最高裁判所
五四	一二	一〇	大阪地方検察庁総務部長を命ずる	法務省

履歴書用紙

法務

省

年

月

日

事

項

庁

名

一日までとする

東京地方検察庁検事に配置換する

法務省刑事局付に充てて

法務省刑事局参事官に充てて

大蔵事務官（国税庁調査査察部査察課）に併任する

大蔵事務官（国税庁調査査察部査察課）の併任を解

除する

かねて法務省人権擁護局付に充てて

かねて法務総合研究所教官に充てて

法務大臣官房参事官に充てて

アメリカ合衆国へ出張を命ずる

出張期間は昭和五二年七月一六日から同月二七日ま

でとする

法務大臣官房司法法制調査部司法法制課長に充てて

履 歴 書 用 紙				法 務 省	
年	月	日	事 項	庁 名	
昭和五七	二	一	大阪地方検察庁特別捜査部長を命ずる	法務省	
五八	一二	二	大阪地方検察庁公安部長を免ずる		
			大阪地方検察庁次席検事を命ずる		
			大阪地方検察庁特別捜査部長を免ずる		
五九	一二	二	大阪地方検察庁特別捜査部長を免ずる		
六〇	一二	二	大阪地方検察庁特別捜査部長を免ずる		
六一	九	一	奈良地方検察庁検事に配置換する		
六二	一二	二	神戸地方検察庁検察正に配置換する		
六三	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
六四	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
六五	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
六六	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
六七	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
六八	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
六九	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七〇	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七一	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七二	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七三	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七四	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七五	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七六	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七七	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七八	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
七九	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八〇	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八一	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八二	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八三	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八四	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八五	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八六	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八七	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八八	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
八九	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九〇	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九一	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九二	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九三	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九四	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九五	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九六	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九七	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九八	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
九九	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		
一〇〇	一二	二	大阪地方検察庁検事正に配置換する		

(大臣官房審議官) 外務事務官 堤 功 一

数 原 孝 憲

(在デュッセルドルフ日本国  
総領事館 総領事) 外務事務官 大和田 恵 朗

國 安 正 昭

(在ロス・アンジェルス日本国  
総領事館 総領事) 外務事務官 荒 船 清 彦

特命全権大使に任命する (以上五月二十七日付)

右のとおり発令を願います。

平成四年五月二十一日

## 外 務 省

外務大臣 渡 辺 美智雄



内閣総理大臣 宮 澤 喜 一 殿

おつて、堤大使にはハンガリー国駐筭、数原大使にはナイジ  
ェリア国駐筭、大和田大使にはクウェイト国駐筭、國安大使に  
はスリ・ランカ国駐筭、荒船大使にはニカラグァ国駐筭をそれ  
ぞれ命ずるものであります。

履 歴 書

本籍

旧姓名

つづみ  
堤

こう  
功 一いち

昭和八年一月三日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	序 名
昭二九	一〇一五	外交官領事官採用試験合格	
三〇	三二八	東京大学教養学部教養学科卒業	
	四一	外務事務官に任命する	
		欧米局第一課勤務を命ずる	
	八一六	在アメリカ合衆国日本国大使館在勤を命ずる	
		命ずる	
		外務書記を命ずる	
外 務 省			
昭三一	四一	外交官補を命ずる	
三四	一〇五	情報文化局対外啓発課勤務を命ずる	
三六	五一六	情報文化局海外広報課勤務を命ずる(組 織令改正)	
三九	六二三	在タイ日本国大使館在勤を命ずる	
		三等書記官を命ずる	
四〇	二一	二等書記官を命ずる	
四一	四二三	在カナダ日本国大使館在勤を命ずる	
四二	四一	一等書記官を命ずる	
四三	七一九	国際連合局政治課勤務を命ずる	
四五	一二二二	国際連合局科学課長を命ずる	
四七	七一	条約局国際協定課長を命ずる	
四九	八一五	在フィリピン日本国大使館在勤を命ずる	

			る	
			参事官を命ずる	
		九一八	在マニラ日本国総領事館兼勤を命ずる	
			総領事を命ずる	
	五一	四一	在スウェーデン日本国大使館在勤を命ずる	
			ずる	
	五三	八一	中近東アフリカ局外務参事官に配置換する	
			大臣官房外務参事官に配置換する（組	
	五五	四五	總令改正）	
			中近東アフリカ局に併任する	
	五六	一二〇	大臣官房審議官に配置換する	
			中近東アフリカ局に併任する	
外務省				
昭五六	九一六		在連合王国日本国大使館に配置換する	
			参事官を命ずる	
			連合王国駐節特命全権大使を補佐し連	
			合王国に在勤する期間公使の名称を与	
			える	
五九	一二〇		特命全権大使に任命する	
			ヴィエトナム国駐節を命ずる	
六一	六一七		イスラエル国駐節を命ずる	
六三	一二二		願に依り本官を免ずる	
	〃		外務事務官（外務省研修所長）に採用	
			する	
平三	六一七		大臣官房審議官に配置換する	

履 歴 書

本籍

旧姓名

かず はら たか のり  
数 原 孝 憲

昭和一〇年二月一日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	庁 名
昭三四	九二六	外務公務員採用上級試験合格	
三五	三	東京大学法学部卒業	
	四一	外務事務官に任命する	
		大臣官房勤務を命ずる	
	八一六	在連合王国日本国大使館在勤を命ずる	
		外交官補を命ずる	
三七	六二〇	在ユーゴスラヴィア日本国大使館在勤を命ずる	
		外 務 省	
		勤を命ずる	
昭三八	六二四	大臣官房勤務を命ずる	
	七一	通商産業事務官に任命する	
		通商局勤務を命ずる	
三九	一一一	外務事務官に任命する	
		国際連合局政治課勤務を命ずる	
四三	四一	国際連合日本政府代表部在勤を命ずる	
		二等書記官を命ずる	
四六	七一五	大蔵事務官に任命する	
		主計局勤務を命ずる	
四八	七九	外務事務官に任命する	
		アジア局南東アジア第一課勤務を命ずる	
		る	

五〇	一、二〇	国際連合局勤務を命ずる（軍縮室長）	
五一	八一六	在インドネシア日本国大使館在勤を命ずる	
		一等書記官を命ずる	
五二	四一	参事官を命ずる	
五三	七一〇	在スウェーデン日本国大使館に配置換する	
五五	六一	在インド日本国大使館に配置換する	
五八	二、一	大臣官房在外公館課長に配置換する	
六〇	一、三一	辞職を承認する	
	二、一	国際協力事業団職員に採用する	
		青年海外協力隊事務局長を命ずる	
六二	八二〇	辞職を承認する	
昭六二	八二一	外務事務官（在オーストリア日本国大使館）に採用する	
		参事官を命ずる	
		オーストリア国駐節特命全權大使を補佐し、在ウィーン国際機関の事務に従事する期間大使の名称を与える	
平元	一、一六	大臣官房に配置換する	
二	一、五	辞職を承認する	
	六	国際協力事業団理事に任命する	

外務省

# 履 歴 書

本籍

おおわだ のり あき  
大和田 恵 朗

旧姓名

昭和一二年六月七日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	庁 名
昭三六	九二〇	外務公務員採用上級試験合格	
三七	三	東京大学法学部第二類卒業	
	四一	外務事務官に任命する	
		条約局勤務を命ずる	
	八一五	在ドイツ日本国大使館在勤を命ずる	
		外交官補を命ずる	
四〇	五一	三等書記官を命ずる	
外 務 省			
昭四二	八二一	経済局勤務を命ずる（総務参事官室）	
四四	一二七	経済局国際経済課勤務を命ずる	
四五	二九	条約局勤務を命ずる	
四七	五二	条約局国際協定課勤務を命ずる	
四八	五一	在オーストリア日本国大使館在勤を命ずる	
		二等書記官を命ずる	
		一等書記官を命ずる	
五〇	七一	在ドイツ民主共和国日本国大使館在勤を命ずる	
五二	七一	アメリカ局調査官に昇任させる	
	九一六	経済局書記官に配置換する	
	一六二八	経済局国際機関第二課長に配置換する	

五六	四六	在イラク日本国大使館に配置換する
五八	七一	参事官を命ずる
		在ベルリン日本国総領事館に配置換する
		領事を命ずる
五九	九一	在ドイツ民主共和国日本国大使館に配置換する
		参事官を命ずる
六一	一一	ドイツ民主共和国駐箚特命全權大使を補佐しドイツ民主共和国に在勤する期間公使の名称を与える
六三	七一	在デュッセルドルフ日本国総領事館に配置換する
昭六三	七一	総領事を命ずる

**外 務 省**

履 歴 書

本籍

旧姓名

くに やす まさ あき  
國 安 正 昭

昭和十三年一月二十七日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	庁 名
昭三六	九二〇	外務公務員採用上級試験合格	
三七	三	東京大学教養学部教養学科卒業	
	四一	外務事務官に任命する	
		条約局勤務を命ずる	
	八一五	在スペイン日本国大使館在勤を命ずる	
		外交官補を命ずる	
三九	七二五	在アルゼンティン日本国大使館在勤を	
外 務 省			
		命ずる	
昭四〇	五一	三等書記官を命ずる	
四二	一二五	中南米・移住局中南米課勤務を命ずる	
	六一	中南米・移住局南米課勤務を命ずる(政	
		令第一一五号)	
四三	六一五	アメリカ局南米課勤務を命ずる(法律	
		第九九号及び政令第一六八号)	
四四	一二七	アメリカ局中南米第一課勤務を命ずる	
	七二五	国際連合局専門機関課勤務を命ずる	
四七	一一一〇	国際連合日本政府代表部在勤を命ずる	
		二等書記官を命ずる	
四八	一〇一	一等書記官を命ずる	
五〇	四一	在アルゼンティン日本国大使館在勤を	

			命ずる	
五二	七一五	アメリカ局中南米第二課長に昇任させ	る	
五三	二、二〇	アメリカ局中南米第一課長に配置換す	る	
五四	九三	国際連合局科学課長に配置換する		
五六	一、二〇	経済協力局経済協力第一課長に配置換する		
五七	七二二	経済局調査官に配置換する		
	一〇五	在ソヴィエト連邦日本国大使館に配置換する		
		参事官を命ずる		
五八	一、二一五	在フィリピン日本国大使館に配置換する		
外務省				
		る		
昭五八	一、二二八	在マニラ日本国総領事館に併任する		
		総領事を命ずる		
六一	一、一	フィリピン国駐節特命全権大使を補佐		
		しフィリピン国に在勤する期間公使の		
		名称を与える		
六二	七、一	大臣官房外務参事官に配置換する		
		中南米局に併任する		
六三	八、一	大臣官房審議官に昇任させる		
		中南米局に併任する		
平二	二、二八	辞職を承認する		
	三、一	東京都理事に任命する		
		外務長を命ずる		

履 歴 書

本籍

旧姓名

あらふね きよ ひこ  
荒 船 清 彦

昭和一三年九月七日生

年 号	月 日	任 免 賞 罰 等	庁 名
昭三六	九二〇	外務公務員採用上級試験合格	
三七	三	東京大学法学部第二類卒業	
	四一	外務事務官に任命する	
		条約局勤務を命ずる	
	八一五	在連合王国日本国大使館在勤を命ずる	
		外交官補を命ずる	
三九	七二〇	在ナイジェリア連邦日本国大使館在勤	
		外 務 省	
		を命ずる	
昭四〇	五一	三等書記官を命ずる	
四一	八三	経済局スターリング地域課勤務を命ずる	
四四	一二七	欧亜局西欧第二課勤務を命ずる	
四六	九一六	在アメリカ合衆国日本国大使館在勤を命ずる	
		二等書記官を命ずる	
四八	一〇一	一等書記官を命ずる	
	二二	大臣官房勤務を命ずる	
四九	一一〇	大臣官房調査部勤務を命ずる	
	七一	大臣官房調査部企画課勤務を命ずる	
五一	一一一	大臣官房調査部勤務を命ずる	

五二	七一	大臣官房調査部（調査室長）に配置換する
五三	二六	欧亜局西欧第二課長に配置換する
五四	四二〇	在マレイシア日本国大使館に配置換する
		る
		参事官を命ずる
五七	二二〇	在連合王国日本国大使館に配置換する
五八	二一	在ドイツ連邦共和国日本国大使館に配置換する
六〇	六二六	大臣官房外務参事官に配置換する
六一	六二三	大臣官房領事移住部に併任する 大蔵事務官（名古屋税関長）に転任させる
昭六三	六一五	大臣官房付に配置換する
	〃	外務事務官（大臣官房審議官）に転任させる
平元	二一〇	国際連合局に併任する
二	二四	在ロス・アンジェルズ日本国総領事館に配置換する
		総領事を命ずる

外務省

閣 議 説 明 メ モ

閣議日 5月26日(火)

発令日 5月27日(水)

特命全権大使に任命する

(1) ハンガリー国駐箚を命ずる

外務事務官(大臣官房審議官)

堤 功 一

堤 功一 → ハンガリー国駐箚  
関 栄二  
4/5/10 命帰朝

(2) ナイジェリア国駐箚を命ずる

国際協力事業団理事

数 原 孝 憲

数原 孝憲 → ナイジェリア国駐箚  
黒河内 康  
4/5/10 命帰朝

(3) クウェイト国駐箚を命ずる

外務事務官(在デュッセルドルフ日本国  
総領事館総領事)

大 和 田 恵 朗

大和田 恵朗 → クウェイト国駐箚  
黒川 剛  
4/4/24 帰国  
4/5/13 免本官

(4) スリ・ランカ国駐箚を命ずる  
東京都（外務長）

國 安 正 昭

國安 正昭 → スリ・ランカ国駐箚  
新田 勇  
4/5/10 命帰朝

(5) ニカラグァ国駐箚を命ずる  
外務事務官（在ロス・アンジェルス日本国  
総領事館総領事）

荒 船 清 彦

荒船 清彦 → ニカラグァ国駐箚  
小西 芳三  
4/1/17 免駐箚  
4/3/3 免本官

法務省人任第1407号  
平成4年5月27日

内閣総理大臣殿

法 務 大 臣



検事総長の定年退官について（通知）

検事総長寛榮一は、検察庁法第22条の規定により平成4年  
5月26日限り定年退官したので、通知します。

法  
務  
省

